

「中長期的なキャリア形成に資する資格・教育訓練の評価等に関する専門検討会議（情報通信技術関係）」でご議論いただく主な論点（案）

1 検討の前提・基本的枠組みについて

- 現行の専門実践教育訓練の指定対象課程・講座の実態や、これまでの労働政策審議会職業能力開発分科会の審議の経過等を踏まえ、「現行制度においては対象とされていない」もののうち、中長期キャリア形成に資する、他の類型と同等の水準を満たすもの」の検討の着眼点として、どのような点が重要と考えられるか。
- その際、特に情報通信技術に関する民間資格や、この取得を目標とした教育訓練の位置づけについてどのように考えられるか。
- 労働者全般の中長期キャリア形成や、生産性向上への寄与等の観点に加え、特に重要な政策ターゲットと考えられる非正規労働者や子育て女性等のキャリアアップの観点から、特に情報通信技術分野の人材ニーズや労働市場の実態をどのように捉えるか。

2 中長期的なキャリア形成に資する資格の捉え方について

- 情報通信技術分野の民間資格（いわゆるベンダー資格等）の実態（資格の種類、各々の受験・合格等の実態、各企業や労働市場における資格取得者の評価等）をどのように捉えるか。
- 専門実践教育訓練の目的に鑑み、中長期的なキャリア形成に資する情報通信技術分野等の民間資格として、どのような観点から評価・選定を行うことが考えられるか（例：実施規模（普及度）、分野（職業との関わり）、水準体系、キャリアアップ上の効果等）。
- これらを踏まえ、中長期的なキャリア形成に特に資する（専門実践教育訓練への位置づけが相応しい）情報通信技術分野の民間資格として、具体的にどのようなもの（種別、レベル）が挙げられるか。

3 中長期的なキャリア形成に資する、資格取得を目標とした教育訓練プログラムの捉え方について

- 一般教育訓練の指定状況等も参考に、情報通信技術分野の民間資格の取得を目標とした教育訓練プログラムの実態（種別、講座数、時間数その他の形態、プログラムの特徴、目標とする資格の受験・合格等の実態、修了者の就職・キャリアアップの実態等）を、どのように捉えるか。
- 2 に掲げた中長期的なキャリア形成に特に資する情報通信技術分野の民間資格の取得を目標とした教育訓練について、どのような観点から評価・選定を行うことが考えられるか（例：時間数、指導体制、受験・合格の実績、就職等キャリアアップ上の効果等）。